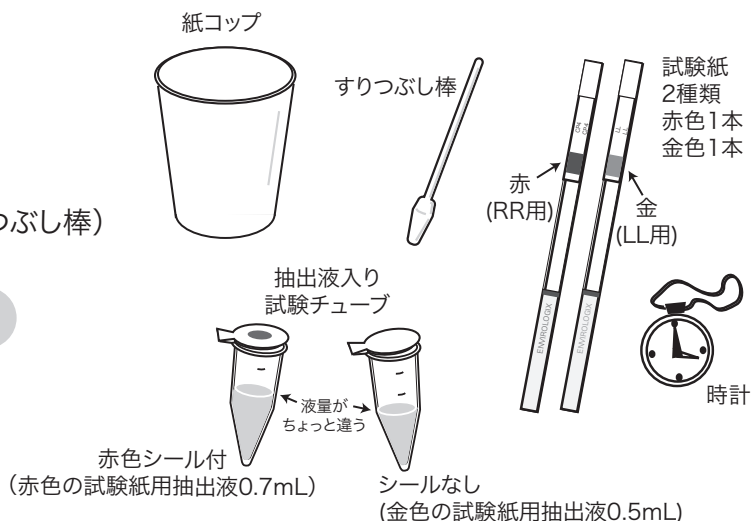


1, 道具の用意

失敗が起きないように用意をします。

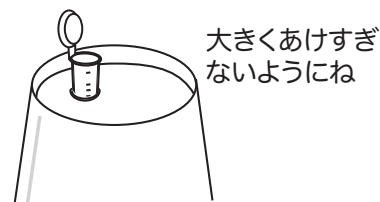
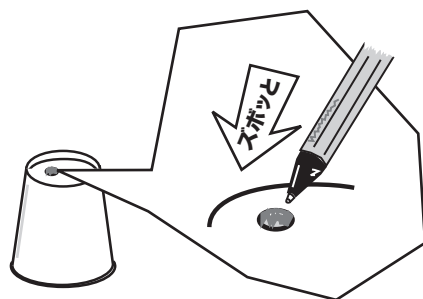
- 紙コップ
- 時計
- 遺伝子組換えナタネ検査セット
(抽出液入りチューブ、試験紙、すりつぶし棒)

! 実験は清潔な手でおこないましょう



2, チューブスタンドを作る

紙コップの底にボールペンなどで穴を開け、チューブをたてます。

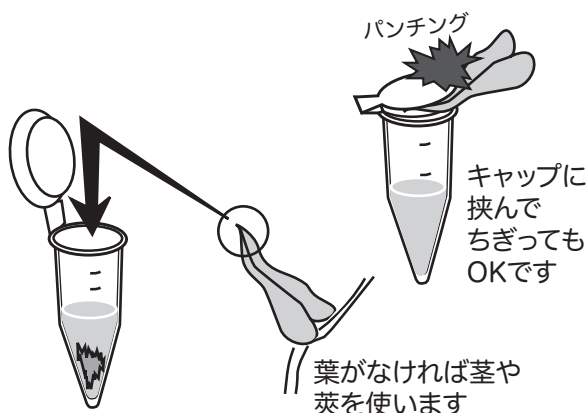


3, サンプルを入れる

チューブに葉を小さくちぎって入れます。
だいたい大きさ10mm x 10mmぐらいを目安
にして、ちぎった葉っぱを、

赤シールのチューブには、1枚
シールなしのチューブには、2枚

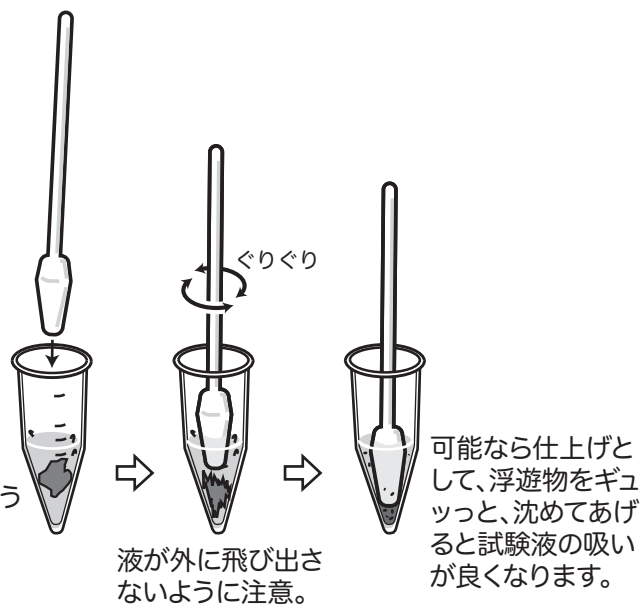
入れます(試験紙メーカー推奨設定)。
ちぎるときは、なるべく素手は避けましょう。



4, すりつぶし棒でつぶす

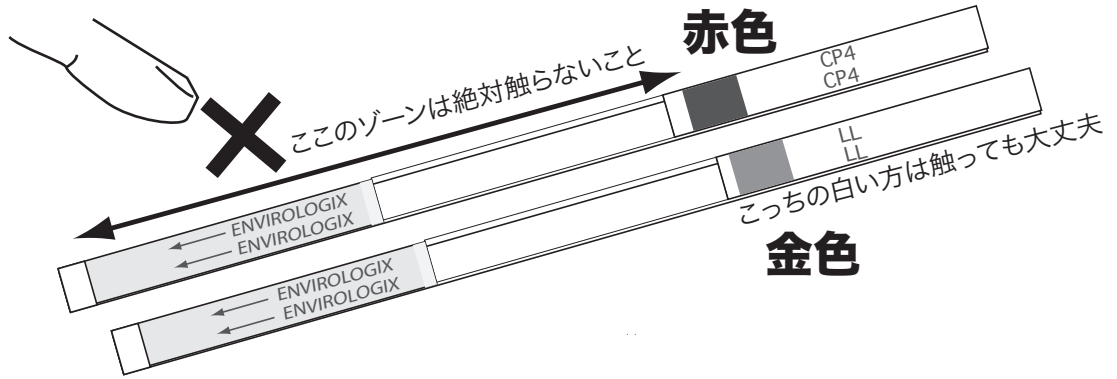
すりつぶし棒でなたねの葉をすりつぶしてあげ
ます。緑が濃すぎると、試験紙に誤ったライン
(ピンクではなく緑色や灰色のライン)を作り出
し、誤判定の原因になりますのでほどほどで大
丈夫です。試験液が薄く緑色になっていれば、十
分な感度が得られます。

いきなり差し込むと
液がこぼれるので、
ゆっくり差し込みましょう



6, 試験紙を取り出す

試験紙を袋から取り出す時は、毎回必ず手を洗ってからにします。
ただし、濡れた手で、触ってはいけません。

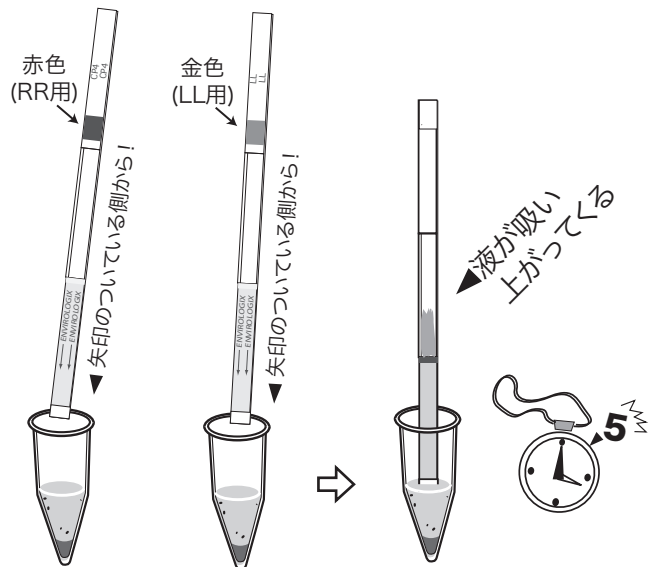


7, 試験紙を入れる

赤色と金色の試験紙をそれぞれのチューブに差し込みます。差し込む向きに注意します。時計を見ながら5分間ぐらい待ちます。

一つのナタネについて**赤色と金色**の試験紙両方でテストします
赤色がモンサント社のRRナタネ検出用
金色がバイエル社のLLナタネ検出用です

*RR は品種名 RoundupReady の略。
**LL は品種名 LibertyLink の略。



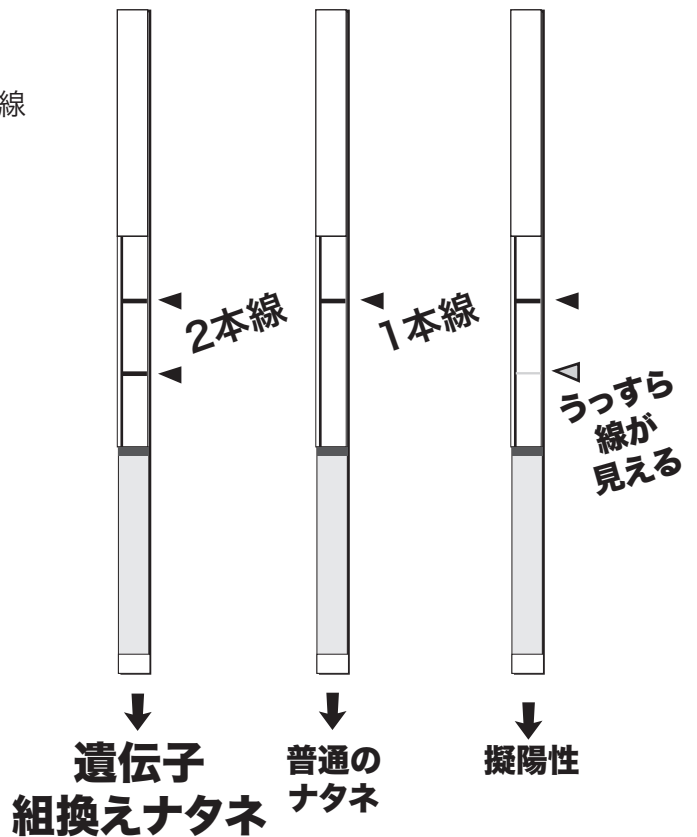
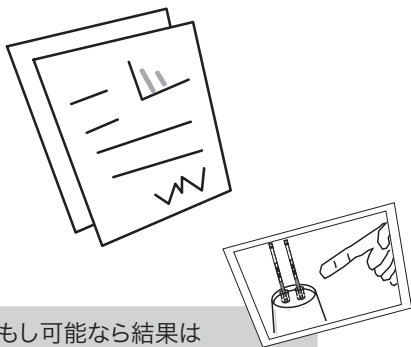
赤色の試験紙は 赤色シールのチューブへ
金色の試験紙は シールなしのチューブへ

8, 判定をする

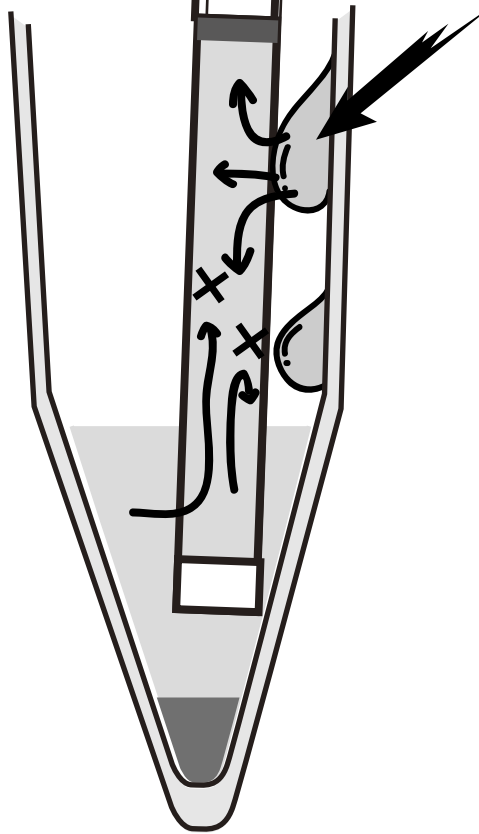
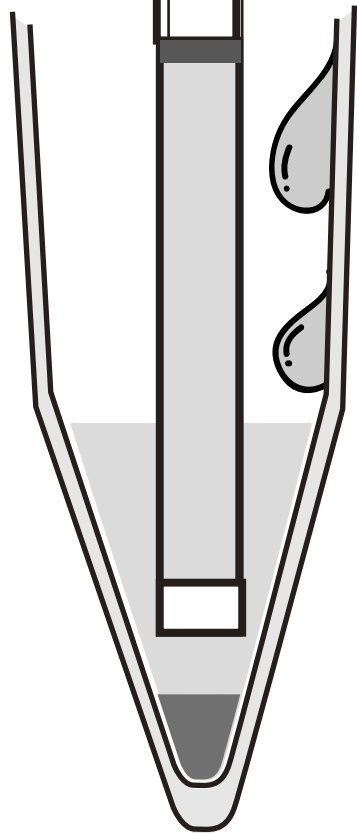
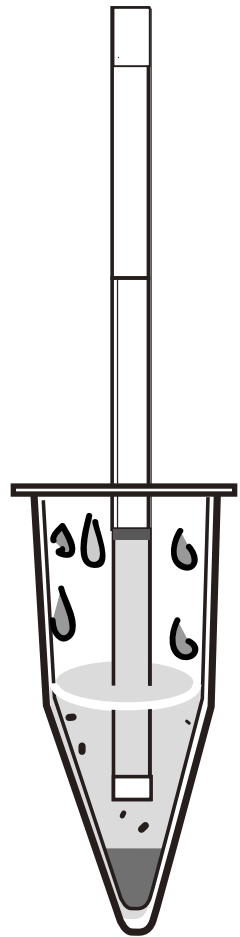
試験紙にでききたピンク色線の数を数えます。
線が2本あると遺伝子組換えナタネとなります。線が1本だけだと普通のナタネとなります。
線が1本も出ない場合は、試験失敗です。

9, 結果の記入と郵送

結果記入用紙に結果を記入します。



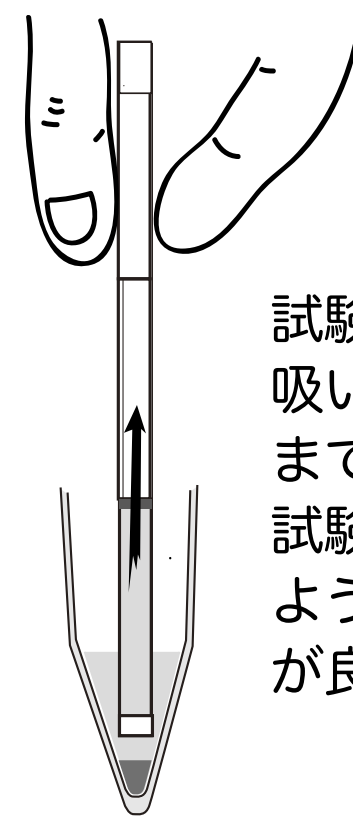
壁の水滴に要注意



壁の水滴が
試験紙に触れて、
濡れてしまうと
試験液と反応試薬が
うまく吸い上がらない



試験前にふたをして
チューブの底を机に
トントンと打ち付けて
水分を落とす



試験液が十分に
吸い上がってくる
までは、壁面に
試験紙が触れない
ようしておく方
が良いです。